

目次

■ 理論編

1. 主権者教育とは何か	3
(1) 選挙権年齢の引下げに伴う動き	3
(2) 中央教育審議会における審議	3
(3) 学習指導要領における主権者教育の位置付け	4
2. 各学校における主権者教育の実施に当たって	5
(1) 教科等横断的な視点からの教育課程の編成	5
(2) 主権者教育における各教科等の位置付けの理解	5
① 社会科	5
② 特別活動	6
(3) 主権者教育の充実のための視点の理解	6
(4) 学習活動の展開に当たって特に留意すべきこと	7
① 社会的事象の取扱い	7
② 学校における政治的中立の確保	7

■ 実践編

1. 小学校社会科における指導事例	
(1) 第3学年「市の様子の移り変わり」	13
(2) 第4学年「自然災害から人々を守る活動」	22
(3) 第6学年「わたしたちの願いと政治の働き」	32
2. 中学校社会科における指導事例	
(1) 公民的分野「国民の生活と政府の役割」	40
《コラム》 実践紹介「生徒が身近な社会問題を解決し、財政及び租税の役割に気付く」	49
(2) 公民的分野「人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」	50
(3) 公民的分野「民主政治と政治参加」	61
《コラム》 実践紹介「外部機関とつながる」「ICT 機器を有効に使う」	74
3. 小学校特別活動における指導事例	
(1) 第4学年 学級活動(1)「学級の歌をつくろう」	77
(2) 第5学年 学級活動(1)「係活動」	87
(3) 児童会活動「児童会のテーマを決めよう」	97
《コラム》「主権者としての意識の涵養 <small>かん</small> に向けて取り組むクラブ活動」(小学校)	106
4. 中学校特別活動における指導事例	
(1) 学級活動(1)「学校生活の主体者としての自覚をもとう」	108
(2) 生徒会活動「学校生活の主体者としての自覚をもとう」	114
(3) 生徒会活動・学校行事「河川清掃活動でよりよい地域づくりに貢献しよう」	122